

研究課題：学校検尿で無症候性蛋白尿として発見された巣状分節性糸球体硬化症の長期予後の臨床的検討

1. 研究の目的

学校検尿で発見される無症候性蛋白尿(ASP)の多くは、生理的蛋白尿で予後良好といわれています。しかし組織像が巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)の場合、その原因や長期予後は様々のため、原因疾患や予後について検討いたします。

2. 研究の方法

2003年6月1日～2019年12月31日に当院を受診し、学校検尿で発見され、先天性腎尿路奇形を除外し、診断時に浮腫や低蛋白血症を認めないASP/FSGSのうち、2年以上経過観察児を対象とします。

3. 研究期間

倫理委員会承認～2020年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究の内容に関しては後に学会または誌上で発表し、公表します。

6. 研究組織

研究代表者：埼玉県立小児医療センター 腎臓科 医長 渡邊 佳孝

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）